

オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>



あたら
な
し
ま
し
ま
す



クリスティーナ・
ウェイルホーファー(米)



アリフ・ファハルディン
(インドネシア)



ウエギ・リアワン
(インドネシア)



ダン・フェ・ギー
(ベトナム)



グエン・ティ・フーン
(ベトナム)



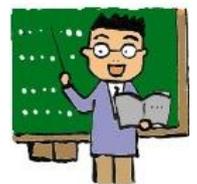
ウェン・ティ・ゴック
(ベトナム)



中川先生のへんてこ日本語

113

いつもお世話になっています



住宅リフォームの業者から電話がかかってきた。「いつもお世話になっています」というので、「あなたのお世話をした覚えはない」といつて電話を切った。するとすぐに再び電話が鳴り、「電話が切れたようで」「切れたんぢやなくて、切ったんです」と、電話を切った。固定電話にかかってくる電話は、こんなばかりである。冷たい対応をしているとは思うが、パソコンでの作業中に手を止めなければならないのは、なんとも腹立たしい。それよりも問題なのは、「お世話になっています」という挨拶言葉である。相手も「お世話になっている」とは思っていないだろうが、なぜこんな無意味な挨拶をするのか。マニュアル語だろうか。

メールでも然りである。冒頭にはこんな挨拶が書かれる。もつとひどいのは、「お疲れ様です」から始まるメールもある。

日本語の挨拶は、季節の言葉から始まるのが通例である。電話で面識のない人に、「お暑うございます。お元気ですか」もおかしいが、「おはようございます。はじめまして。私……程度の挨拶はできないものだろうか。確かに「お世話に……」なら季節を問わず使えるが、いきなり本題という唐突さを避けるためのストラテジーであるとも考えられる。

ときに見知らぬ留学生からメールをもらうことがあるが、「はじめまして、私……と申します。お忙しいところ申し訳ございません」などと、相手への配慮表現から始まる。これは、手紙(メール)の書き方を学習し、お手本に忠実であるからにすぎない。

企業エニアルがどうなっているのか知らないが、日本人にも日本語教育は必要であるといいたい。

いつもお世話になっている読者諸氏には、ご理解いただけるだろう。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

オリーブ・秋のバスツアー

メタセコイアの並木とそば打ち体験

11月24日(日) 54名参加(先生15名・生徒39名)



今年のオリーブ・バスツアーは、マキノのメタセコイアの並木と高島市のそば打ち体験に行きました！

マキノピックランドのメタセコイア並木はやっと枝先の葉が黄色く色づき始めたぐらいでしたが、朝からたくさんの観光客が押し掛けていて車道に出て写真を撮っているのでバスから見ていて危なっかしくてハラハラしました。しかも駐車場が満車だったため、私たちのバスは

並木道の終点に近いところに止まることになってしまいました。それでもメタセコイアだけでなく、近くのお寺の境内の紅葉や赤、橙、黄色に彩られた秋の山など、日本の秋らしい風景を背景にみんな思い思いのポーズでたくさん写真が撮れてよかったです。

並木の中央まで歩いて行った人たちが集合時間になってもなかなか帰ってこなかったのが心配しましたが、何とか間に合っただけの目的地の高島市「体験交流センターゆめの」に11時半到着。



そば打ちは11グループに分かれて、普段話す機会のない人たちが話せるように、先生と生徒、生徒の国籍が重ならないようばらばらに組み合わせました。(組み合わせを考えたくださった高田先生、どうもありがとうございました。)

ほぼ全員「そば打ち」は初めてでしたが、毎日、小麦粉で饅頭を作っているからこねるのは得意という中国の生徒さんや、実家でフォーの麺を米粉から作っていたというベトナムの生徒さん、パンを作ったことのある人もいたので、最初のそば粉と水を合わせてお団子状にしていく過程は、問題なし。こねるのは比較的簡単でしたが、広げていく



ときの麺棒の使い方に独特の工夫があって、「麺棒の外側から1回、2回、3回と手を内側に移しながら伸ばします」という先生のお手本を見て真似するのですが、なかなか同じようにはできません。うまく伸ばせると最後は生地が四角に広がるそうです。今回は台形のところが多かったかな(笑)。



そばを伸ばしてから畳んで切り始めるときも、時間がかかると乾燥してきて穴が開いたり、ちぎれやすくなるそうです。「ああっ、ちぎれた〜！」という悲鳴がいくつかのグループから聞こえてきました(笑)。でも形が違っても、味は同じだから大丈夫！

最初、作りはじめたときは両手に乗るぐらいのお団子状だったので、これを5人でわけて足りるのだろうか心配になりましたが、ゆであがったら大きなザルに一杯で、わさびとネギを添えていただきました。山菜炊き込みご飯もあって、お腹一杯！



皆で力を合わせて作ったそばは太くて、お店のそばのように細くてツルツルしていませんでしたが、食べるとしっかりとそばの香りがして、麺が重なって固く茹であがったところも歯ごたえがあってアクセントになってよかったです。初めて食べた生徒さんも多かったのですが「美味しかった」という人が多かったです。引率教員としては、そばアレルギーの人がいなくてほっとしました。



そば打ちが、とても楽しくてわいわい作っている間に時間が予定よりもオーバーしてしまい、熊川宿まで行くには時間が足りなくなりました。そこで急遽予定を変更して西教寺に向かうことにしたのですが、連休ということもあって大津方面に向かう道路が大渋滞。なかなかバスが進まないで西教寺も諦めて、お土産を買える琵琶湖大橋たもと米プラザに立ち寄り、皆で記念写真を撮りました。予定変更はありましたが車窓から秋の紅葉もたくさん見ることができ、アンケートを見ても全員が「楽しかった。また参加したい。」と書いてくれました。こうして好評のうちに今年のバスツアーも無事に終わることができました。





先月の活動(11月)

日本語教室 11/2(M), 16, 23 (3回)
 オリーブ・バスツアー 11/24(日)
 BNN運営委員会 11/10(日) (豊田)
 まちセン施設部会 11/18(月)(内田千)



今月の活動予定 (12月)

日本語教室 12/7(M), 14, 21 (3回)
 まちセン全体会議 12/6(金) (内田千)
 BNN運営会議 12/17(火) (河村)
 新春企画生徒ミーティング① 12/14(土)
 オリーブ忘年会 12/22(日)



参加人数(11月)

	11/2	11/16	11/23
生徒	39人	51人	46人
先生	20人	23人	19人

- 日本語教室の(M)は定例ミーティング
- ()内は参加者、または参加予定者。敬称略



会員の動き(11月)

〈入会〉中溝 由香さん 張 意涵さん
 〈休会〉なし
 〈退会〉なし

中国に帰国します



李 紅娟さん (田中先生班)

7月に来日して一週間後から友だちとオリーブに来ました。

来日直後は日本語が下手だったので買物するときでさえ緊張しました。オリーブの先生達はボランティアですが、とても熱心に教えてくださり半年間いろいろ勉強になりました。

オリーブ25周年の記念パーティやバスツアーにも参加しました。両方ともとても楽しかったです。大変ありがとうございました。先週、N1の試験を受けました。合格できるかどうかはともかく今後も続けて日本語を勉強したいと思います。みなさん一緒にがんばりましょう！

どうぞ皆さん、お元気で活躍ください。

最後の日本語教室の前に田中先生が「毎日、日本語の勉強ばかりで遊ぶ時間もなかったようだから」と一緒に紅葉見物に行きました。N1合格応援しています！



いろんな国で活躍する日本人！ブラジル編

1月18日(土) 14:00~15:30

市民交流プラザ フェリエ南草津 中会議室
 参加費無料 定員30名

青年海外協力隊の日本語教師としてブラジルに2年間行かれた筑広祥子さんにブラジルにおける日系社会の歴史と現状、そして現地の日本語教育について楽しく教えていただきます。

ブラジルのパンとお飲み物も用意しています。
 ぜひお越しください！

申込・問合せ先:

KIFA (草津市国際交流協会) ☎ 077-561-2322
 E-mail: kifa-japan@coda.ocn.ne.jp

日本語ボランティア養成講座

(全6回 6000円)

By 大津市国際親善協会

2020年1月11日~2月15日の毎週土曜日(全6回)

受付開始:12月17日~

1月11日 13:00~14:45 他13:00~14:30

定員30名

会場:大津市市民活動センター 大会議室

講師:京都日本語教育センター講師

申込み・問い合わせ:大津市国際親善協会

☎ 077-525-4711 E-mail: info@oiga.jp

外国人無料個別相談室(要予約) 1月8日(水) 17:30~、18:15~、19:00~



編集者雑記:バンコクのコンドミニアムの年1回の管理組合総会では毎回終了後に防火訓練が行われるのですが今回、会場にはなぜかケースに入ったコブラやヘビが...?最近バンコクではヘビが家の敷地に入ってくるので今回はヘビを捕まえる訓練をするそうです!訓練終了後、参加者全員笑顔で首にヘビをかけて記念撮影。日本でも組合総会の出席率が低くて問題になっていますが、こんな総会なら出席率が上がるかも(^_^) (遠藤)